

# 景気動向調査

(水産加工業)

平成30年7～9月期、10～12月期

# 調査概要

調査時期	平成31年1月16～31日
調査対象時期	第3期:(当期)平成30年7～9月 (次期):平成30年10～12月 第4期:(当期)平成30年10～12月 (次期):平成31年1～3月
調査対象企業	水産加工業者40社
有効回答率	72.5%
調査方法	郵送によるアンケート方式
調査内容	①業界景気など、自社景況の実績と次期予測 ②経営上の課題 ③自由記述(業界内での話題や困りごと等)

# 1.【設問1】集計結果

—B.S.I値で見る業種別景気動向—

## ※B.S.I値 とは

- 「Business Survey Index(ビジネス・サーベイ・インデックス)」の略で、景況判断指数のひとつ
- 下記の計算式で算出された数値が、プラスであれば景気に対する判断は上向き、マイナスであれば下向きと判断する

※(「上昇:好調の要素」-「下降:不調の要素」)÷2

最大値はプラスマイナスいずれも「50」となる

# 質問事項

以下の項目について、当期実績および次期予測を伺います。選択肢から該当するものを選び解答欄にご記入ください。

	項目	回答欄	
		当期実績	次期予測
1	<b>国内景気について</b> 1. 良い    2. やや良い    3. 不変    4. やや悪い    5. 悪い		
2	<b>貴業界景気について</b> 1. 良い    2. やや良い    3. 不変    4. やや悪い    5. 悪い		
3	<b>貴社 売上について</b> 1. 増加    2. やや増加    3. 不変    4. やや減少    5. 減少		
4	<b>貴社 営業利益について</b> 1. 増加    2. やや増加    3. 不変    4. やや減少    5. 減少		
5	<b>貴社 製（商）品在庫について</b> 1. 過少    2. やや過少    3. 不変    4. やや過多    5. 過多		
6	<b>貴社 資金繰りにについて</b> 1. 容易    2. やや容易    3. 不変    4. やや困難    5. 困難		
7	<b>貴社 設備投資について</b> 1. 増加    2. やや増加    3. 不変    4. やや減少    5. 減少		

## (1) 国内景気について

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-25.8	-25.8	-27.4	-22.6
※前回比	▲8.1	±0	▲1.6	△4.8

(7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲25.8ポイントを記録。前期比▲8.1ポイントとなった。

次期予測: 実績値と変わらず、大きな変化はない見通しに。

(10~12月期)

当期実績: 前回予測比▲1.6ポイントと、若干ながら悪化の予測となった。

次期予測: 直近実績比△4.8ポイントと、やや数値の改善が見られた。

## (2) 業界景気について

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-29.0	-22.6	-29.0	-25.8
※前期比	±0	△6.4	▲6.4	△3.2

(7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲29.0ポイントを記録。前期比と同数値で、景気の低迷がうかがえる。

次期予測: 直近実績比▲6.4と、やや改善の見通し。

(10~12月期)

当期実績: 前回予測比▲6.4ポイントで、前回実数値と同じ結果に。低迷が続いている

次期予測: 直近実績比△3.2ポイントと、若干数値の改善がみられた。

### (3) 売上について

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-17.7	0.0	-1.6	-6.5
※前期比	▲6.4	△17.7	▲1.6	▲4.9

(7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲17.7ポイントを記録。前期比▲6.4ポイントとなった。

次期予測: 直近実績比△17.7ポイントと大幅な改善見通しに。

(10~12月期)

当期実績: 前回予測比▲1.6ポイントと、若干ながら悪化の予測となった。

次期予測: 直近実績比▲4.9ポイントと、やや売り上げが落ち込むが予測となった。



## (4) 営業利益について

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-22.6	-4.8	-9.7	-11.3
※前期比	▲4.9	△17.8	▲4.9	▲1.6

(7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲22.6ポイントを記録。前期比▲4.9ポイントとなった。

次期予測: 直近実績比△17.8ポイントと大幅な改善予測に。

(10~12月期)

当期実績: 前回予測比▲4.9ポイントと、若干ながら悪化の予測となった。

次期予測: 直近実績比▲1.6ポイントと、やや数値の改善が見られた。

## (5) 製(商)品在庫について

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-4.8	4.8	0.0	8.1
※前期比	▲1.6	△9.6	▲4.8	△8.1

(7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲4.8ポイントを記録。前期比▲1.6ポイントとなった。

次期予測: 直近実績比△9.6ポイントと、やや過剰在庫になる予測に。

(10~12月期)

当期実績: 前回予測比▲4.8ポイントと、バランスが取れた予測となった。

次期予測: 直近実績比△8.1ポイントと、やや数値の改善が見られた。

## (6) 資金繰りについて

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-12.9	-14.5	-6.5	-8.1
※前期比	▲8.1	▲1.6	△8.0	▲1.6

### (7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲12.9ポイントを記録。前期比▲8.1ポイントとなった。

次期予測: 直近実績比▲1.6ポイントと大幅な改善予測に。

### (10~12月期)

当期実績: 前回予測比△8.0ポイントと、改善傾向にある予測となった。

次期予測: 直近実績比▲1.6ポイントと、やや数値の改善が見られた。

## (7) 資金繰りについて

	7~9月期		10~12月期	
	当期実績(7~9月)	次期予測(10~12月)	当期実績(10~12月)	次期予測(1~3月)
水産加工業者	-3.2	-3.2	0.0	-3.2
※前期比	▲1.6	±0	△3.2	▲3.2

(7~9月期)

当期実績: B. S. I値▲3.2ポイントを記録。前期比▲1.6ポイントとなった。

次期予測: 前回実績値と変わらず、大きな変化はない見通し。

(10~12月期)

当期実績: 前回予測比△3.2ポイントと、B. S. I値が平均的に。

次期予測: 直近実績比▲3.2ポイントと、若干ながら悪化傾向の予測に。

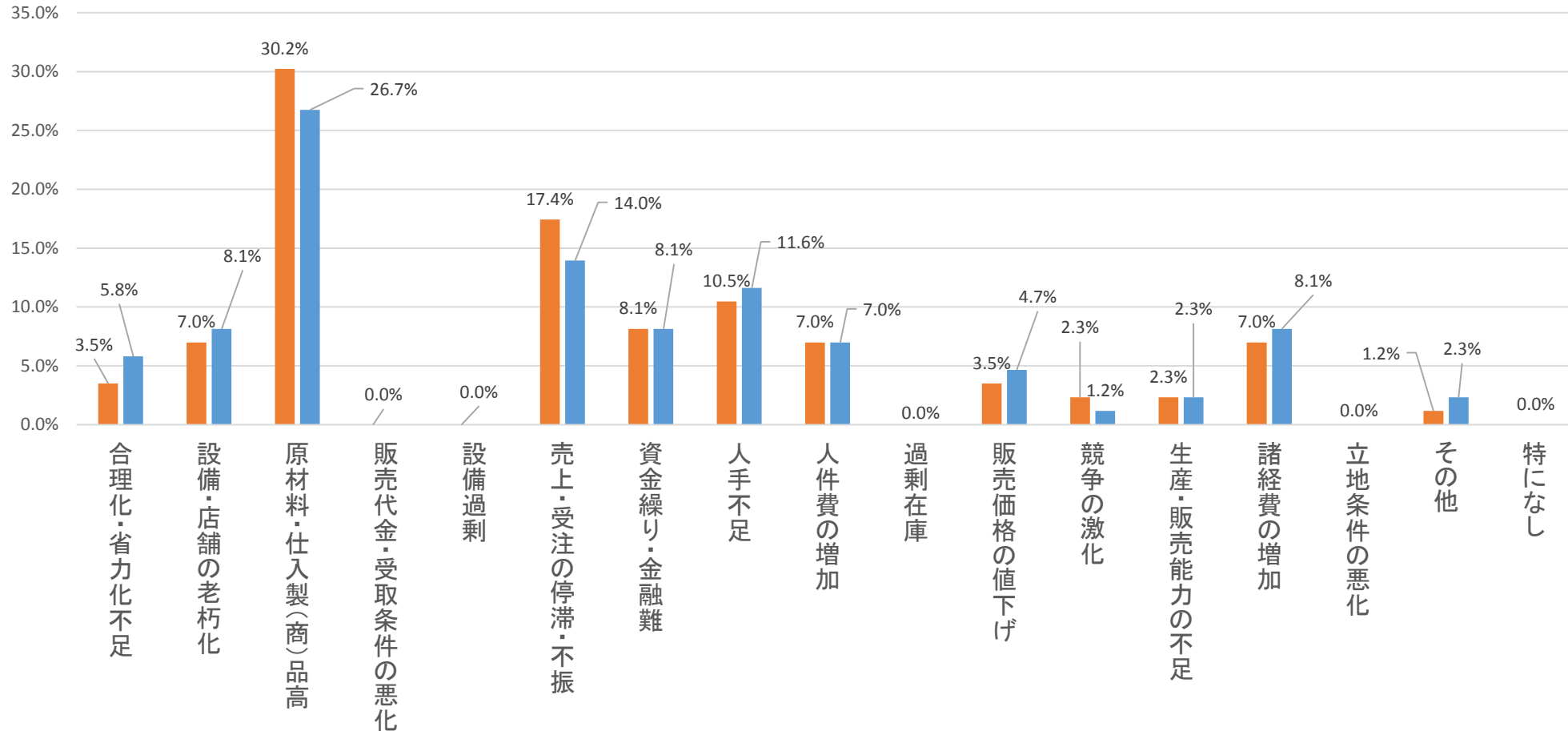
## 2.【設問2】集計結果

—業種別、経営上の問題点—



# (1) 項目別集計表 ( 7~9月期 10~12月期 )

経営上の課題 平成30年7~9月期、10~12月期



## (2) 時期別集計表 (      上位3項目 )

	合理化・省力化不足	設備・店舗の老朽化	原材料・仕入製(商)品高	販売代金・受取条件の悪化	設備過剰	売上・受注の停滞・不振	資金繰り・金融難	人手不足	人件費の増加	過剰在庫	販売価格の値下げ	競争の激化	生産・販売能力の不足	諸経費の増加	立地条件の悪化	その他	特になし
7~9月期	3.5%	7.0%	30.2%	0.0%	0.0%	17.4%	8.1%	10.5%	7.0%	0.0%	3.5%	2.3%	2.3%	7.0%	0.0%	1.2%	0.0%
※前期比	(△0.3)	(▲0.5)	(△2.6)	(▲1.1)	-	(△4.7)	(△2.8)	(▲1.2)	(▲2.6)	(▲1.1)	(△2.4)	(△1.3)	(▲3.0)	(▲5.8)	-	(△1.2)	-
10~12月期	5.8%	8.1%	26.7%	0.0%	0.0%	14.0%	8.1%	11.6%	7.0%	0.0%	4.7%	1.2%	2.3%	8.1%	0.0%	2.3%	0.0%
※前期比	(△2.3)	(△1.2)	(▲3.5)	-	-	(▲3.5)	-	(▲1.2)	-	-	(△1.2)	(▲1.2)	-	(△1.2)	-	(△1.2)	-

- ・大きな変化は見られないが、依然として「原材料・仕入製(商)品高」への対応に苦慮する事業所が多い
- ・仕入値の高騰を売値に反映できず、対策に苦慮している声が寄せられている



### 3.【設問3】寄せられた声

—自由記述—

## 自由記述(業界内での話題や困りごとなどなんでも)

### <雇用>

- 求人募集を出してもなかなか人が集まらない
- 繁忙期と閑散期の、人員調整が難しい

### <震災関連>

- 販路拡大に向けて取り組みを実施中(失った販路の回復なども)
- 借入金の返済対応に苦慮

### <経営(社内取組など)>

- 自社商品が品質審査会において最高位の賞を受賞
- インターネット販売を検討
- 原材料の高騰がネック。諸経費の増加もあるが、これらを、売値に反映することは難しい